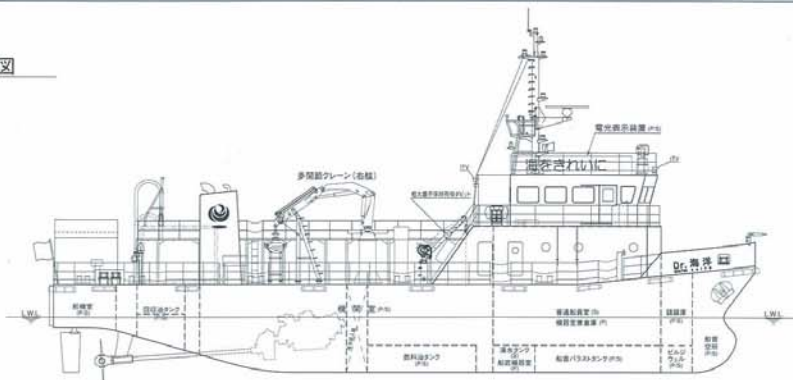
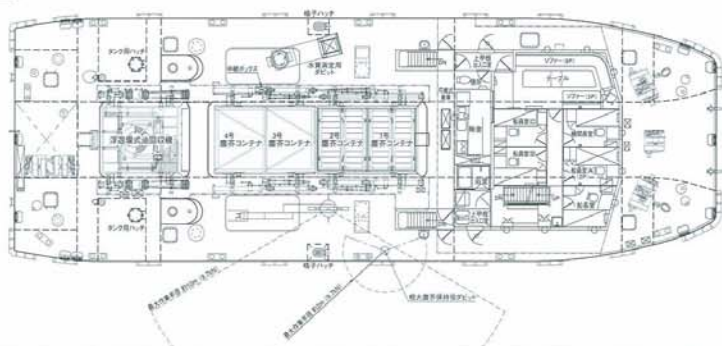


側面図



平面図



海の環境を守る名医

Dr.海洋

＋ドクター・かいよう

海をきれいに

国土交通省 近畿地方整備局
神戸港湾事務所
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町7-30
<http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobeport>
TEL:(078)331-6701



瀬戸内のきれいな海を守るため
神戸から発進します

最新の装備を搭載し、 海の環境保護に活躍する「Dr.海洋」

主要目

船 種: 海面清掃兼油回収船	総トン数: 196G/T
船 型: 双胴型	最大速力: 15.4ノット(常備状態)
船 質: 鋼製	機関出力: 1,132kW × 2基
全 長: 33.5m	推進器: 4翼可変ピッチプロペラ × 2基
全 幅: 11.6m	回収油タンク: 20m³ × 2
深さ(型): 4.2m	ゴミコンテナ: 12.5m³ × 4個
最大喫水(型): 2.64m	



船 体



操舵室 良好な視界を確保するため、オールラウンドビュー(全面窓)を採用し、また、窓の幅や高さについても十分に検討を行い設計しました。



機関室

4サイクル高速ディーゼル機関を採用し、大気汚染の原因となるNOx(窒素酸化物)の低減を図りました。また、消音器などの工夫で騒音に対応しています。



CPPプロペラ

CPP(可変ピッチ)プロペラを採用し、ゴミや油回収中の微速航行などのデリケートな操船を可能としています。



電光表示装置

ブリッジ部の両舷に高輝度LED(発光ダイオード)の電光表示装置を備え、作業中の船の状況を周囲の船に知らせるようにしています。



居住区

天井の高さを2.1m以上とし、機関室からの騒音低減を図るためカセットパネル工法を用いるなどして、居住性を向上させています。

清掃装置

海面に浮んでいるゴミを回収するための装置です。小さなゴミは船体中央部のコンテナで、流木などの大きなゴミは多関節クレーンで回収します。



塵芥コンテナ

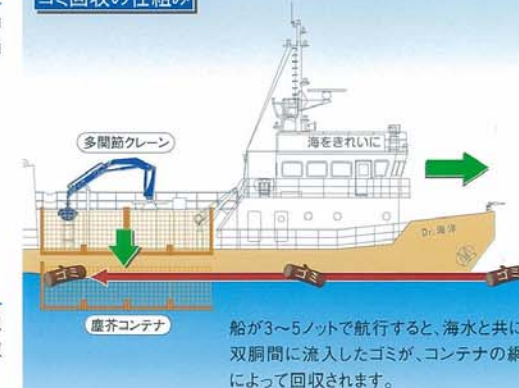
船体中央部の双胴間に装備したコンテナ式ゴミ回収装置で、海中にコンテナを下ろしてゴミを回収します。



多関節クレーン

右舷に設置し、流木等の大型のゴミの回収や、ネットコンベア式油回収機の装備のときなどに使われます。

ゴミ回収の仕組み



油回収装置

海難事故や過失による油流出などによって海面に漂う油を回収する装置です。低粘度から高粘度まで、あらゆる状態の油に対処することができます。

浮遊堰式油回収機

低・中粘度浮遊油用の回収機で、油の流出した海面に投入し、船上に設置した油移送ポンプで油水を吸引します。油水分離室を装備して油分だけを回収することができ、大容量の油水を処理することができます。

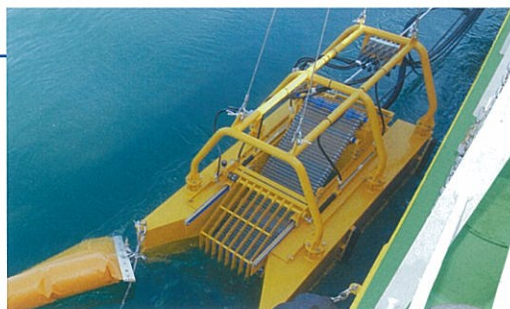


中粘度油



ネットコンベア式油回収機

高粘度浮遊油用の回収機で、ネットでできたコンベアを回転させて油のみを回収する仕組みです。回収した油は、フロート上に設置した油タンクに一時貯蔵し、それを甲板上のポンプで吸引します。普段は陸上に保管し、必要ときには迅速に装備できるように設計されています。



高粘度油



調査装置

水質調査を行うための水質調査機器を装備しています。取得したデータは、海域環境評価・改善のために、広く利用されています。

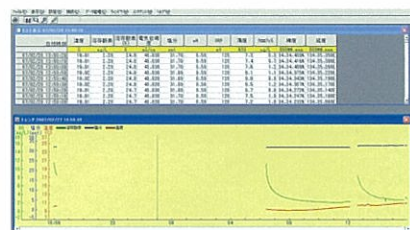
水質調査ダビット

瀬戸内海総合水質調査による定期的な水質・底質調査を行うための水質測定用ダビットを左舷側に装備しています。



水質自動測定装置

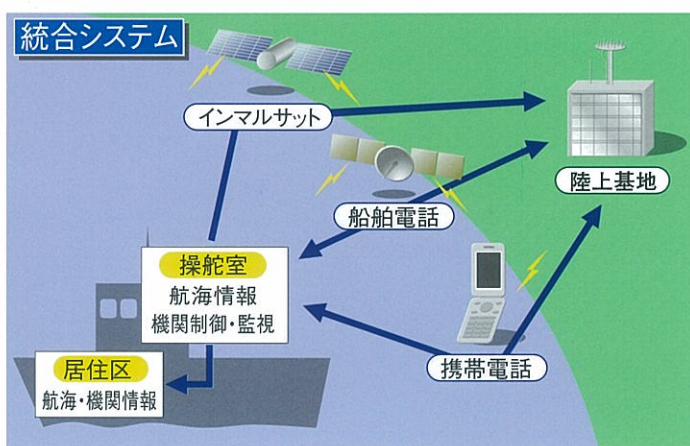
航行しながら表層部分のpH（酸性かアルカリ性かを示す度合い）、水温、濁度などの水質データを自動取得できる測定装置を装備しています。



情報伝達機能の強化及び機関・航海情報の一元監視

通信機能は、災害時における被災状況伝達等の迅速化を図るため、インマルサット（衛星）、船舶電話（衛星）、携帯電話（陸上局）によるハイブリッド（異種）通信機能を確保しました。また、カメラ情報等の船内情報を一元的に監視することにより、業務の効率化が向上しています。

機関監視操作盤



海洋環境船

「Dr.海洋」とは？

国土交通省近畿地方整備局神戸港湾事務所では、大阪湾及び播磨灘の一般海域で、ゴミや油などを回収する海洋環境整備事業を行ってきました。この事業に長年従事してきた「紀淡丸」が老朽化してきたことから、新たに代替船「Dr.海洋」を建造することとなり、2007年4月より就航することとなりました。

「Dr.海洋」は、船体中央にコンテナ式のゴミ回収装置を設けているほか、流木等を積み込む多関節クレーンを装備し、大小さまざまなゴミの回収ができるように設計されています。また、船体後部に設けられた油回収装置により流出した油の回収を迅速に行うことができます。さらに、水質調査を行うための装備も備えており、海の環境を総合的に見守ることができます。



「Dr.海洋」の名前の由来

「Dr.海洋」の船名は、一般公募により決定しました。「海洋汚染の早期発見（環境調査）や改善治療（ゴミや油の回収）を行う海のお医者さん」という意味がこめられています。

